

## 日本保健福祉学会誌 執筆規程

### (制限事項)

1. 投稿原稿は原著、論説、研究ノート、総説、資料ともに、図表（写真を含む。以下同様）を含み、刷り上がり 10 頁以内が望ましい。ただし刷り上り 1 頁は 400 字詰め原稿用紙のほぼ 4 枚に相当する。
2. 図表は白黒原稿に限る。

### (提出の方法と様式)

3. 投稿原稿は、原則としてパーソナルコンピュータで作成し、電子データをメール添付で送信することにより提出する。
4. 投稿原稿のうち表紙、和文抄録、本文（文献を含む）、英文抄録（Abstract）は、この順でひとつのファイル（以下、本文等）にまとめ、Microsoft Word 形式のファイルで、正版及び副版の各 1 部を提出する。図表は本文等と別ファイル（正版のみ）で提出する。
  - (1) 表紙には上半分の部分に表題（英文付記）、論文枚数、図表の数、希望する原稿の種類を記載する。正版のみ下半分に、著者名と所属・肩書き（共著者含む、英文付記）、別刷必要部数、編集委員会への連絡事項及び著者（共著の場合は筆頭者）の連絡先（住所、電話、e-mail）を記載する。
  - (2) 和文抄録は 800 字以内とし、目的、方法、結果、結論に分けて、見出しをつけて記載する。末尾にキーワードを付記する。
  - (3) 英文抄録（Abstract）は 300 語以内とする。必ず専門家または英語母国語話者のチェックを受け、表題、抄録、キーワードの順に記載する。表題はすべて大文字とし、著者名と所属はここには記述しない。なお、採択決定後、最終原稿の英文表題、英文抄録、その他英文を用いた部分については、投稿者の費用負担により専門家による英文校閲を受け、その証明書を提出すること。
  - (4) キーワードは 5 個以内とし、日本語、英語ともに日本医学会「医学用語辞典」、医学中央雑誌刊行会「医学用語シソーラス」、日本科学技術情報センター「JST 科学技術用語シソーラス」、米国国立医学図書館「MeSH」に記述された索引語を参考として記載する。
  - (5) 本文等の書式およびレイアウトは下記を参考に、Word の初期設定に準じたものとする。
    - 用紙：A4 版 縦置き 余白 上 35 mm 下 30 mm 左右 30 mm
    - 文字数と行数：横書き 1 行文字数 40 1 ページ行数 36
    - フォント：10.5 ポイント 全角文字は明朝体 半角文字は明朝体またはセリフ体 数字・アルファベットは半角文字を使用
  - (6) 本文等には表紙を含め、ページ中央下部にページ番号を挿入し、「ページ設定」の

- 「行番号」機能を用いて左余白に行番号（ページごとに振り直し）を表示する。
- (7) 副版は、投稿者の類推が可能な箇所を Word の「蛍光ペン」機能により黒で塗りつぶす。

#### (提出先)

5. 投稿原稿のファイルは、下記へ電子メール添付により提出する。受信可能なメールサイズは、メールヘッダ、本文を含めて 10MB 以内であるため、これを超える場合は送付方法について問い合わせること。

〒305-8577 つくば市天王台 1-1-1

筑波大学人間総合科学研究科 国際発達ケア研究室内

日本保健福祉学会事務局

電話 029-853-3436 / e-mail : drops-tsukuba@umin.ac.jp

#### (受付の確認)

6. 投稿原稿に対して、編集委員会では様式等の確認を行い、査読可能な原稿に対して、受付日、受付番号などを記載した受付通知書を発行する。

#### (使用言語)

7. 投稿原稿は原則として日本語とする。ただし図表などの説明文については英語を用いてもよい。外国語による投稿論文の場合は事前に問い合わせ、編集委員会の許可を得た上で執筆するが、制限頁数などについては別途定める。

#### (本文の表記法)

8. 投稿論文のうち、原著等の論文の構成は原則として以下の通りとする。
- (1) 和文抄録 目的・方法・結果・結論 (Abstract に相当)
  - (2) 緒言 (研究の目的)
  - (3) 研究方法 (方法と対象等)  
研究・調査・実験・解析に関する手法の記述、対象者の選定方法、資料・材料の集め方、倫理的配慮 (倫理審査を受審した場合は、倫理審査委員会名および承認番号または承認年月日を記載する。)
  - (4) 研究結果 研究などの結果・成績
  - (5) 考察 結果の考察・評価・限界
  - (6) 文献 (文献の記載方法は後述)
  - (7) 英文抄録
9. 本文の表記法については以下の通りとする。
- (1) 現代仮名遣いを用い、簡潔に記述する。
  - (2) 章、節、等の数字は I. 1. 1) の順に使用する。
  - (3) 数字は算用数字を用い、単位や符号は慣用のものを用いるが、特殊な、あるいは

特定分野のみで用いられている単位、符号、略号ならびに表現には、必ず簡単な説明を加える。

- (4) 外来語はカタカナで書く。外国人名や適当な日本語訳のない術語などは原綴を用いる。
- (5) 図表の原稿は明瞭なものでなければならない。図 1、表 1 などの番号を付け、本文中において 1 回以上言及し、挿入希望位置の本文中の図表番号を Word の「蛍光ペン」機能（色は任意）によりマークする。マークがない場合は初出箇所に挿入を希望するものとみなす。

#### (文献記載の様式)

10. 文献は本文の引用箇所の肩に 1)、1~5)などの番号で示し、本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載する。文献の著者が 3 名までは全員、4 名以上の場合は筆頭者名のみあげ、「他」「et al」とする。同じ文献を引用する場合は同じ番号を用い、同じ書籍の異なるページを引用する場合は、番号を改めて書誌事項を記載し、「前掲書」、「前掲論文」等の表記は用いない。
11. 雑誌などの略名は、邦文誌は医学中央雑誌刊行会編「医学中央雑誌収載誌目録略名リスト」に、欧文誌は「Index Medicus」に従って記載するが、雑誌所定のものがあればこれを用いる。

#### (記載方法の例)

12. 記載方法は下記の例に従う。
  - (1) 雑誌の場合（オンラインで発表されていて、号や頁が与えられていないものは、DOI (Digital Object Identifier) が付与されている場合は明記すること。）

小川 浩, 宮崎恭一, 林 高春. 5 日禁煙講習会の成績. 日本公衛誌. 1988. 35. 80-84.

Browson RC, Chang JG, and Davis JR. Occupation, Smoking, and Alcohol in the Epidemiology of Bladder Cance. Am J Public Health. 1987. 77. 1298-1300.
  - (2) 単行本の場合  

重松逸造, 小張一峰, 今川八束. 伝染病予防必携第 3 版. 日本公衆衛生協会. 1986.25-30.

西岡和男, 公衆衛生に関する国際統計. 橋本正己, 丸地信弘, 川口雄次, 他編. 世界の公衆衛生. 日本公衆衛生協会. 1981. 747-765.

Rothman KJ. Modern Epidemiology. Brown and Co. 1986. 56-57.
  - (3) 訳本の場合  

Last JM. A Dictionary of Epidemiology. Oxford University Press. 1983.

重松逸造, 春日斉, 柳川洋訳. 疫学辞典. 日本公衆衛生協会. 1987. 60-61.
  - (4) インターネットの場合（インターネット以外での入手が困難で、公的機関等によって作成されたもので、長期にわたって掲載される可能性の高い資料に限る。）

厚生労働省. 統計情報をご利用の方へ. <https://www.mhlw.go.jp/toukei/goriyou/>

(2019年10月10日アクセス)。

- (5) 原則として、特殊な報告書、投稿中論文、私信、その他で、一般的に入手不可能な資料は文献としての引用は認めない。

**(印刷の体裁)**

13. 印刷の体裁は編集委員会に一任する。

付則：この改正規程は2020年3月1日より施行する。

**日本保健福祉学会誌 編集委員**

委員長 延原弘章（埼玉県立大学）

副委員長 有村大士（日本社会事業大学）

渡辺裕一（武蔵野大学）

委員 安梅勅江（筑波大学大学院）（50音順）

篠原亮次（山梨大学）

新保幸男（神奈川県立保健福祉大学）

住居広士（県立広島大学）

芳賀 博（桜美林大学）

藤林慶子（東洋大学）

松浦賢長（福岡県立大学）